

海外安全対策情報

令和 8 年 8 月
在スペイン日本国大使館

1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) スペインでの犯罪発生状況 (2024 年)

スペイン内務省統計によれば、2024 年の犯罪認知件数は、2,454,206 件となっている。粗暴犯や薬物事犯が増加傾向にある一方、窃盗はやや減少傾向にあるものの、全体的に依然として高い水準で推移している。

主な犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人 (既遂)	強盗・脅迫	傷害	窃盗 (すり・置引き)	窃盗 (侵入窃盗)	窃盗 (自動車盗)	薬物事犯
349 件	62,976 件	123,028 件	648,963 件	262,222 件	32,965 件	21,540 件
(+4.8%)	(-2.7%)	(+4.2%)	(-2.5%)	(-3.8%)	(+0.4%)	(+2.4%)

(2) 邦人被害状況 (2025 年)

当館及び在バルセロナ総領事館において認知したスペイン国内での邦人犯罪被害件数は 213 件であった。

被害内訳は、置引き (96 件)、すり (53 件) が全体の大部分を占めている。

四半期ごとの被害件数内訳は以下のとおり。

1 月～3 月	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月
44 件	49 件	60 件	60 件

(3) 邦人被害事案

- ・公共交通機関での移動中、買い物中及びレストラン等での食事中に気付かないうちにリュックサック等がそのまま持ち去られる又は旅券や財布等の貴重品を抜き取られた。(大多数)
- ・人の多い観光地で散策中、気がつくとリュックサックが開けられており、貴重品が抜き取られていた。
- ・ホテルでのチェックイン・アウト手続きを含めたホテル滞在中や、飲食店において、足元や座席に置いていた物が置引きされた。
- ・知らない人に声を掛けられて対応している間に、後方から別の人物に鞆から貴重品を抜き取られた。

2 テロ・爆弾事件発生状況

2004 年 3 月にマドリードで同時多発列車爆破テロ事件が、2017 年 8 月にはバルセロナ

等で車両による通行人襲撃事件が発生している。これらの事件以外にも、テロ計画が準備段階で摘発される、紛争地域向け戦闘員の勧誘や派遣が摘発される等、依然として国内での活動が確認されている。

スペイン内務省は、テロ警戒のレベルを「4（高い脅威）」（全5段階）と評価しており、スペイン治安当局によるテロ警戒及び治安強化が継続されている。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

当館及びバルセロナ総領事館として、邦人被害は認知していない。

4 日本企業の安全に関する諸問題

当館及び在バルセロナ総領事館として、認知している問題はない。